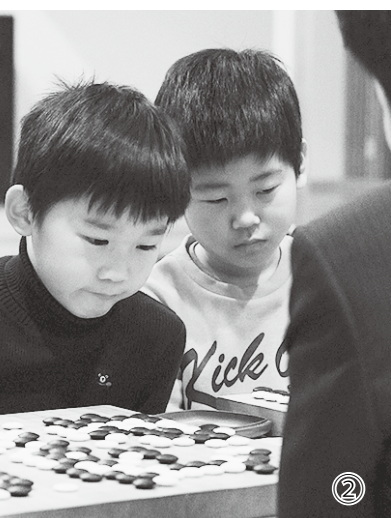


# 棋聖戦

## 囲碁タイトル戦

### 安来で初開催



①井山裕太棋聖の先手で始まった対局②プロと真剣なまなざしで打つ参加者。  
③前夜祭では安来高校囲碁同好会の生徒が花束贈呈④小学生の好手になるベテラン棋士

市内全域に雪が舞った1月14日・15日、囲碁の国内最高位のタイトル戦第41期棋聖戦七番勝負第1局が古川町のさぎの湯荘で開催されました。

国内6タイトル保持者の井山裕太棋聖に河野臨九段が挑戦。静寂の中、立会人の趙治勲名誉名人の合図で井山棋聖が先手を打ち、対局が始まりました。熱戦は2日間にわたり、15日午後6時56分、河野九段が178手で勝利しました。

安来節演芸館では棋聖戦にあわせて、囲碁大会やプロ棋士による指導碁を開催。参加者110人の内、小・中学生が多く、若い世代の囲碁熱の高さが感じられました。会場では、大人と小学生が碁盤を囲み打ち合う姿が随所に見られ、小学生が繰り出す妙手に思わずうなる場面も見られました。

13日は夢ランドしらさぎで前夜祭を行い、鉄砲隊やどじょうすくいなどでおもてなし。大いに盛り上がりました。

## interview

囲碁大会に参加した若い棋士たちに話を聞きました。



安来一中2年  
松原優斗くん

友達と来場した松原くんは、小学2年生から囲碁を習っています。「安来でこんなすごい対局が観れるなんて楽しみです。友達と観戦します」。



安来高校囲碁部  
漆原友紀さん

高校の囲碁全国大会に出場経験がある漆原さん。「一般の人と打って楽しかった。これを機に安来でも囲碁が盛り上がってほしい」。



美保関小2年  
森脇健弘くん

森脇くんは、プロ棋士と対局し、ハンディ戦ながら勝利。「石が混み合ったところが上手だと褒めてもらった。もっと強くなりたい」。